

日刊県民福井 掲載記事 平成25年10月10日

# 切らず治す先進治療

県立病院にある陽子線がん治療センターでは、体を切らずにがんを治す先進の「陽子線治療」を受けることができます。全国に十一カ所しかない粒子線治療施設のうちの一つが福井にあるのです。

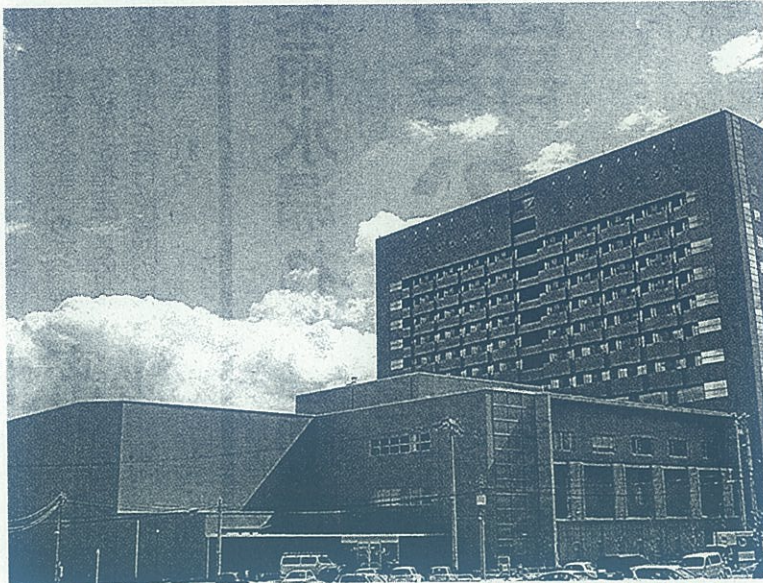
陽子線治療は、がんの放射線治療の一種です。手術のように体を切らないため、痛みや体へのダメージが少ないのが特長で、高齢や持病などの理由で体力がなく、手術ができない方も受けることができます。ピンポイントで病巣を狙って照射できるため、周りの臓器への影響を極力抑えることもできます。

治療対象となるのは、頭頸部、肺、肝臓、前立腺などにできた固形のがんです。昨年から食道がんの治療も始めています。この他の部位であっても、専門の医師によるキャンサーボードで適応を検討の上、可能な場合は治療を行っていますのでご相談ください。

## いきいきライフ

治療の流れとしては、ま病巣を正確に狙えるよう患者さんの病状を把握し、体を固定するための固定台上で、陽子線治療の対象 定員を作製します。コンピュータ断層撮影（CT）となるか検討します。次に

### 県立病院陽子線がん治療センター



県立病院陽子線がん治療センター＝福井市四ツ井2丁目

と磁気共鳴画像装置（MRI）撮影を行い、これらの画像を基に、がん病巣に合わせた陽子線の量や線量分布を計算する治療計画を作成します。準備が整った患者さんの中では、治療開始です。毎回正確な位置合わせを行った上で、陽子線の照射を行います。同センターでは、より多くの種類のがんに陽子線治療を行えるように対象部位を増やす研究を進めています。さらに、複雑ながん病巣の形にも合うよう、陽子線をいくつもの層に分けて照射する世界初の積層原体照射システムや、CT画像を利用して高い精度で照射位置を決めるCT自動位置決めシステムの年度内導入を目指し、現在準備中です。

治療による痛みはほとんどなく、寝ている間に照射が終わります。治療時間は一日三十分程度で、普通の生活をしながら治療できますし、症状によっては入院治療も可能です。治療期間は、部位の場所や病巣の大きさにより、二週間から八週間程度です。陽子線がん治療センターには、さまざまな患者さんが来院します。肺がんと診断された八十代男性は、身内の方から紹介され体を切らずに済む陽子線治療を選

択、治療を行いました。現在も元気にしています。石川県に在住の五十代男性は、毎日自宅から通院し、午前は治療、午後は会社と一日も欠勤することなく入社していました。もちろん県内の患者さんも、仕事をしながら通院して治療する方が多くいます。県外から

## 対象部位増やす研究も

このした取り組みにより、県民の皆さんに、より精度の高い治療を提供できるように努めています。相談専用ダイヤル＝0776(57)2981。

(県地域医療課)

健康